

キーワード: **生活困窮者** **貧困・格差** **包括支援** 活動地域: 愛知県
テーマ: 貧困・格差対策等の社会的支援(福祉的支援)を行う事業

団体名: **特定非営利活動法人いまから**

事業名: 生活困窮に陥った若者の緊急生活支援事業

助成金額: 2,831千円 事業年度: 平成26年度

団体概要

住所: 〒441-8036
愛知県豊橋市東橋良町 25-1

連絡先: 0532-48-7808

HP: <http://toyosapo.jp/imakara>

事業背景

豊橋市を中心とする東三河地域では、生活困窮状態の若者や児童養護施設を利用できなくなったり、施設を出てから行き場所がなくなった若者、DVを受けている青少年などに対する相談機関はあるものの、居場所や宿泊などの施設は足りていない状況です。

若者同士が集まり、話し合う中でコミュニケーション力や社会性を身につける居場所、就労へ向けた訓練の場、緊急を要する際の宿泊施設など、具体的な青少年や若者への支援が十分行き届いていないことが地域の課題となっていました。

事業概要

孤立状態に陥っている若者が集まることのできる居場所を運営し、医師などの専門家による精神面の相談や就労の悩みを含む生活面での相談に応じました。

また、農家や企業、就労支援団体などと連携し、対人関係や社会性の学びを目的とした就労訓練事業を行いました。

加えて、宿泊場所の提供とともに、就労後も相談などの継続的な支援が受けられる居場所の運営に取り組みました。

ここに注目!

医師による精神面、身体面からのフォローを行いながら、農家や企業での就労体験により自己肯定感を高めるなど、医療の専門機関や就労支援団体と連携しながら自立へつなげられていました。

宿泊施設での一時的な支援に留まらず、企業と支援対象者との仲介役としてアルバイトからの正社員化を企業に促すなどの力添えや、金銭管理などの生活指導をすることで、自立後の社会生活のフォローに取り組み、一過性ではない事業効果をもたらしていました。



コミュニケーション訓練研修の様子



農家での就業体験の様子

キーワード: **子ども** **貧困・格差** **学習支援** 活動地域: 北海道

テーマ: 地域や家庭における子ども・子育てに関する事業

団体名: **特定非営利活動法人Kacotam**

事業名: 各地域拠点における子どもの学習支援事業

助成金額: 818 千円 事業年度: 平成 26 年度

団体概要

住所: 〒063-0051
北海道札幌市西区宮の沢
1条5丁目6番36号

連絡先: 070-5283-9501

HP: <http://www.kacotam/>

事業背景

札幌市では、ひとり親家庭が約 18,000 世帯、生活保護世帯が約 47,000 世帯あると言われていますが、市が委託している学習支援の団体は 2 団体しかなく、十分に足りている状況ではありません。

当団体は、平成 24 年に設立し、児童養護施設で暮らす子どもへの学習支援を行ってきましたが、こうした地域の状況を何とかしたいと感じていました。また、生活困窮家庭やひとり親家庭の区分には入らないものの、経済的に困窮している家庭も多くあり、学習支援へのニーズは高まっている状況です。

事業概要

助成事業では、小学 1 年生から高校 3 年生を対象にした学習支援を 4 か所の拠点で行いました。講師は、大学生や社会人によるボランティアメンバーです。

勉強を教えるだけでなく、一緒にお菓子をつかったり、雑談したりする時間を設けることで、子どもたちとの関係づくりができ、学習意欲の向上、学習習慣の改善につながりました。

助成期間中、延べ 1,360 名の子どもたちの学習支援を効率的な方法で実施され、志望校合格、不登校の子どもが再び登校が可能になるなどの成果が見られました。

ここに注目!

集団行動が求められる塾などではなじむことが難しい不登校の子どもに寄り添って対応するなど、子どもの一人ひとりの状況に応じた支援が展開されました。

団体の拠点は、勉強する場としてだけでなく、大学生のボランティアスタッフなどおしゃべりをする時間を設けることで、子どもたちが視野を広げる機会や居場所にもなり、効果的に学習支援を行うことができます。



学習支援の様子

キーワード: **子ども** **貧困・格差** **学習支援** 活動地域: 大阪府

テーマ: 貧困・格差対策等社会的支援(福祉的支援)を行う事業

団体名: **特定非営利活動法人西淀川子どもセンター**

事業名: 「つながろう! 人生まだまだこれから」事業

助成金額: 1,456 千円 事業年度: 平成 23 年度

団体概要

住所: 〒555-0012
大阪府大阪市西淀川区御幣島
6-9-3-101

連絡先: 06-6475-1372

HP: <http://nishiyodogawakodomocenter.web.fc2.com>

事業背景

子どもが暴力の被害にあう事件は後を絶ちませんが、その中で子どもが周りの人との関係の中で育まれる「自尊感情や安心感」を得ていくには、地域において子どもが気軽に自分のことを話すことができる「場」と「人」が必要です。

不登校・中退・非行・ネグレクト・障害等により意欲喪失した子どもは、やり直したいと思っても、その機会は恵まれておらず、個別支援の必要性を感じています。

事業概要

学校の学習でつまづきを抱えている場合が多いことから、そのフォローを行う学習支援やその他サポートを行う「てらこやプロジェクト」を行いました。対象となる子どもたちの多くは基礎学力が不十分であることから義務教育レベルの学習支援を行い、加えて、日常の悩みや金銭管理等の子どもが自立し生活していくために必要な知識も身につけていきます。また、机上の支援だけでなく、料理教室等の各種イベントを実施し、子どもの自尊感情の回復に努めました。

助成事業終了後は、これらの活動を継続する中で子どもから夜に誰もいない家に帰りたくないとい

う声寄せられ、親が不在となる夜間にボランティアと協力して夕食作りや学習支援を実施し、また、

話し合う場を提供する「夜間サテライト事業」の実施に至りました。平成 27 年度からは西淀川区の補助事業「子どもたちに寄り添うつどいの家事業」として継続して実施されています。

ここに注目!

助成事業を継続する中で見えてきた課題や子ども達の声を反映し、助成事業の内容を更に深めた全国的に例の少ない先駆的な取り組みである「夜間サテライト事業」として活動を発展させることができました。

内閣府における「平成 26 年度子どもと家族・若者応援団表彰」や、大阪市における市民活動やコミュニティビジネス普及促進に関し表彰する「CB・CSO アワード 2015」の「大阪市長賞」を受賞するなど、行政からも高く評価されています。



活動風景